



福祉会館にかわる施設は

関 幸悦 議員

28年度に完成させたい

町長



町芸術祭の民謡発表

複合施設の建設は

福祉会館は、老朽化が進んで耐震性も危惧される。福祉会館にかわる複合施設建設を計画し、建設準備検討会を立ち上げて進んでいると思うが進捗はどうか状況は。

町長 福祉会館は築40年以上経過しており、老朽化が進んで利用者にとっては満足いく施設とは言えない状況にある。検討会議を開催してきたが具体的に煮詰めるまでにいたっていない。今後、十分に時間をかけて検討し公共施設整備基金条例を新たに創り、建設に備えていく。

今後の見通しは

町長 平成28年度の県民芸術祭開幕式は大石田町での開催が予想されるので、それまで複合施設を完成させたい。

洋式トイレの設置を

町内外の不特定多数の人が利用する公共施設トイレが「汚い・不便」との苦情の音が聞かれる。和式トイレから洋式トイレに改善する考えは。

町長 役場庁舎や、クロスカルチャープラザ、駅公園などに和式トイレが設置されている。不便と感じるのは高齢の方、身体が不自由な方ではない

かと考える。財政的な負担を伴うので、来年度に役場庁舎の各階に1基ずつ設置したい。クロスカルチャープラザにも設置を検討していく。

健康増進策は

健康増進に関する施策の充実をどのように考えているのか。

町長 国の医療費、介護給付費の伸びは、どの市町村においても深刻な問題となっている。「健康おおいしだ21」を平成19年に策定し、各種検診率の向上や一次予防・二次予防に努めている。健康で安心して暮らせる町づくりの観点に立って充実した施策を行っていく。



エアロビクスで健康増進



地元企業の育成・活性化を

星川 久 議員

地元優先を心がける

町長

町内業者の育成・支援は

今回の凍上災工事入札に地元企業が一切指名されない理由は。

町長 工事等請負業者選定要領の規定に則り、平成18年凍上災の指名業者を基本として選定したと聞いている。

県内舗装Aランク業者のみなぜ指名したのか。

副町長 選定にあたっては、平成18年の凍上災工



約8千万円の平成24年度凍上災工事

事で指名した業者を基本的に、信用度、工事成績、技術者の状況、手持ち工事等に留意して選定した。

今回の凍上災は、近隣市町村ではすべて地元企業に発注していると聞いているが、町はこのことを確認しているのか。

町長 尾花沢市、村山市の状況を聞いていますが、何分にも業者の数や規模等が異なり、単純に比較できないと思う。

まめ知識

- ◆凍上災(とうじょうさい)とは
「凍上災害」。冬場の低温で道路の地盤に大きな霜柱が発生して地面が盛り上がり、路面にひび割れなどが発生する被害。
- ◆入札制度の改善
公共工事発注をめぐる汚職事件を受け、町は「入札制度改善検討委員会」を設置。入札制度の改善に向けた検討を行い、町長に対し5つの柱からなる報告を行いました。
 - ①指名業者の選定に関する町長決裁を除外する(実施済み)
 - ②入札執行者を副町長または総務企画課長とする(実施済み)
 - ③事前に予定価格が漏れることのないよう設計書の管理を徹底する(実施済み)
 - ④入札執行状況を検証する入札監視委員会を設置する(実施済み)
 - ⑤条件付き一般競争入札を導入する(25年度以降実施予定)

凍上災の対象町道は7路線だが、3工区にして発注したメリットは。

今後の町内業者の育成・支援に対する考えと、業者を指名する際の考え方は。

町長 町内業者の育成・支援は今までも対応してきた。今後も優先的な支援を心がけていく。